

「現代社会」学習指導案

指導者 和歌山県立有田中央高等学校  
教諭 木田 誠治

1. 日時 平成25年2月8日(金)第3限目

2. 場所 2-5教室

3. 学年 2-5 (24名)

4. 生徒観

なかなか自分の意見を主張できない生徒も見受けられるが、グループワークにおいてリーダーシップを取れる生徒もいる。積極的に授業に参加する雰囲気はあるが、知識面ではまだまだ不十分な生徒も多い。

5. 単元 現代国家と民主政治

6. 単元目標 民主政治における個人と国家の関係について考察することにより、政治参加の重要性和民主社会に生きる倫理についての自覚を深めさせる。

7. 本時の目標 世界の主な国の政治体制を比較しながら理解させるとともに望ましい政治や主権者としての参政の在り方について考えさせる。

8. 本時の創意工夫 (5観点について①～⑤)

①本時の学習内容及びテーマを示す

②視覚的な表示

③話し合いの内容は知識を問うものではなく、誰でも話し合いに参加できるようにしている。

④ただ単に、制度の説明に留まることなく、話し合う時間をとり、生徒個人の考えを深める

⑤始業、終業の挨拶をしっかりとさせるとともに、授業に望む準備を確認する。

9. 本時の展開

	学習内容	学習活動 (生徒の活動)	指導の留意点・支援 (教師の活動)	学習 形態	創意工夫 ①～⑤
導 入	・始業の挨拶 ・授業準備の確認	・写真の人物は誰か考える	・忘れ物はないか、授業を受ける準備は整っているか確認 ・写真を提示し、大統領制と議院内閣制があることを伝える	一斉 一斉	⑤ ⑤
	・本時の学習内容の提示	総理大臣と大統領の違いは何ですか？		一斉	② ①
展 開	・議院内閣制	・議院内閣制の特徴について学ぶ	・安倍総理大臣を例にする。	一斉	②
	・大統領制	・大統領制の特徴について学ぶ	・オバマ大統領を例とする。	一斉	
	・大統領制のメリット	資料から大統領制のメリットとデメリットを考える	・日本の首相とアメリカ大統領の在任期間に着目させる	個人	③④
	・メインセッションの提示	日本でも大統領制を導入すべきか？		グループ	
	・グループ学習	・グループに分かれ、グループ内で話し合い、まとめる	・机間巡視を行い、グループの取り組みを確認助言する。		
ま と め	・その他の国家体制	・世界には様々な国家体制が	・中国を例にそれ以外にも様々な国家体制がある事を伝える	一斉	
	・本時の振り返り	・本時の内容の復習を簡単に行う。	・本日の学習内容確認を行う。		